

令和3年度西予市市政懇談会会議要録

開催日時 令和3年9月29日(水) 19:00~20:25
開催場所 二及地区体育館
出席者 参加者 31人 市側 10人 市長 管家一夫、副市長 宗正弘、教育長 松川伸二 総務部長 山住哲司、政策企画部長 下澤広幸 生活福祉部長(兼)福祉事務所長 藤井兼人、産業部長 酒井信也 建設部長 三瀬計浩、教育部長 宇都宮裕、三瓶支所長 片山勇一 事務局他 14人
議事内容(要旨) 1 開会 2 市長あいさつ 3 地域づくり活動センターに関する説明 (1) ①地域づくり活動センター推進計画(案)について(まちづくり推進課長説明) ②公民館分館について(生涯学習課長説明) (2) 組織体制(案)について(総務課長説明) 4 質疑応答 (意見等) 3点質問したい。 1点目は公民館の移転について。三瓶北公民館が移転となると二木生保育園跡地に移転になる計画と聞いている。二木生保育園は建築されて30年近く経過し、ところどころ損傷が出ている。法的対応年数は鉄筋のため47年ではあるが、老朽化率は60%におよぶ。改築した場合の対応年数を教えていただきたい。合わせて、センター化で新築移転が予定されている土居公民館のことも教えてほしい。 2点目は東地区の拠点の設置場所について。市民検討委員会の答申では、拠点は2カ所必要であることを含む5案が提示されている。しかし、市の提案は津波対策などの防災面を含めて、答申に合致していないと思う。その点について説明がほしい。 3点目はセンター移行後の地域行事について。現在、公民館行事の取り扱いは市内各地区で異なっている。旧東宇和では盆踊りや敬老会を公民館行事としているところもあるが、三瓶地区では地域が主体となっている。そのあたりの行事を公民館主催とできるのであれば、区費などの削減にもつなげることができるが、地域行事などはセンター移行後も現在と同じ形で実施して

いくのか。答申には地域づくり組織と自治会組織の関係性を地域内で協議するとなっている。これについても、現時点でスケジュールが決まっていたら教えていただきたい。

(回答：建設部長)

公民館の移転について回答。現時点で二木生保育園の改修については、屋根、外壁、内部、電気設備、給排水・空調などの機械設備の改修を検討している。この工事に伴う間仕切り壁の撤去や壁新設の可能性もあるが、構造躯体に触れるものではないため、法定対応年数は変わらないと考えている。しかし、改修部分については、本来の性能を取り戻すことができるため、実質は建物の長寿命化につながると考えている。

土居公民館は昭和 42 年 3 月に建設された鉄筋コンクリート 2 階建ての施設。旧耐震基準で整備され建築後 54 年経過している。土居地区では、地域での建設検討委員会での協議の結果、センターの場所を旧土居保育所にする提案をいただいている。旧土居保育所は昭和 56 年に旧耐震基準で整備した施設であるから、今回解体・新築することになっている。

(回答：市長)

私から補足させていただく。市としては施設の長寿命化が図れる施設は長く使いたいという考えが基本。一方で、施設が耐震基準を満たさない場合や修繕できないような致命的な欠陥がある場合は新たな施設を整備することも検討している。現在の北公民館は古い施設であるため、二木生保育園の場所での改修または新築を検討している。市の案を踏まえながらどのような整備が良いのかということは地域と協議して進めていきたい。

また、今年から来年にかけて海岸から小学校までの道の改修を行う。それから、小学校の場所に蔵貫地区にある三楽園が移転してくる計画になっている。工事でご迷惑をおかけするがご理解いただきたい。センターについても早く方針を決めてスタートしたいと思う。

(意見等)

先ほどの話によると耐用年数は変わらないとのことだった。令和 5 年には 31 年が経過した状態になるので、耐用年数までは残り 16 年。16 年後には、修繕費もかかってくると思うので、行政と協議しながら検討していきたい。

(回答：政策企画部長)

2 点目について回答。答申では三瓶東地区は人口規模や活動エリアの広さから 2 カ所センターが必要という意見をいただいた。市としては、三瓶東地区は地域内に行政機関や病院、商業施設などの民間事業者によるサービスを受けやすい、利便性の高い地域だと考えている。その上でセンターを 2 カ所設置することが必要か地域での検討を進めていく必要があるが、市としては、2 カ所センターを設置するよりも職員数を充実させるなどの対応で地域を支援できると考えている。

三瓶東地区ではセンター新設の意見もあるが、センターの設置箇所につい

ての基本的な考え方は答申にもあるように「既存の公共施設を活用する」という考え方に基づいて現在の案を提示させていただいている。

次に津波対策などの防災面が反映されていないという意見について。計画面にあるすべての施設が津波浸水区域外にあるものではない。可能ならば、区域外にセンターを移転したいが、財政面、地理的要件からこのようにならざるを得ないということで理解いただきたい。令和5年のスタート時は可能な限り既存施設を活用するが、施設の老朽化や運用状況、社会情勢も鑑みて、防災面にも配慮した拠点施設について検討していきたい。

(回答：教育部長)

3点目について回答。地域行事について、旧東宇和では地域行事の実施主体は実行委員会などの地域主体の団体となっており、事務局を公民館などが担っていることが多い状況。その他にも青年団の単独事業や地域団体が地域づくり交付金を活用して事業を行うなどさまざまなやり方がある。

三瓶地区のように行政区が自立して事業を行っているのは三瓶の良いところだと感じている。行政区の行事をまとめるかなどについては、センターにおいて地域全体で検討していただきたい。

(回答：政策企画部長)

地域づくり組織と自治会との関係性についていつまでに話し合っほしいというスケジュールはない。今後の人口減少なども見据えながらどのような関係をもつことが二木生地区にとって良いのか検討いただきたい。現状のままが良いということであれば、変える必要もない。

参考までに市内の事例を申し上げる。4月から先行してセンター化に取り組んでいる田之筋地区では、地域が一体的に地域づくり活動に取り組むために、これまで別々の組織であった地域づくり組織と自主防災組織、自治会や各種団体で構成された田之筋地区団体連絡協議会といったものが地域づくり組織に統合された。同じやり方がすべての地域に合致するものではないが、それぞれの地域で取り組みやすい組織づくりを検討いただきたい。

(意見等)

分館制度について伺いたい。資料の移行パターンの中で、パターン3に地区公民館を分館として兼用している蔵貫分館、二及分館は令和5年4月以降、区からの負担は求めないが、特別な事情がある場合は別途協議するとなっている。特別な事情とは具体的に何か。

(回答 教育部長)

センターの協議が難航した場合や災害が発生した場合、施設の使用の仕方、別の施設を利用したい場合など総合的な地域の事情という風に考えている。地域から要望がある場合には個別に相談いただきたい。

(意見等)

3点ほど質問させていただく。

二木生地域づくり会では、令和3年1月にセンター建設に関する要望を提

出した。回答を6月にいただいたが、その中で、今後も地域にとって良い機能を備え、地域の課題解決に取り組めるセンターとするため地域づくり組織や自治会と情報共有しながら施設整備を進めるとあった。引き続き、意見を聞いてもらいながら進めていただきたい。

2点目に今後の市政懇談会について伺いたい。市政懇談会は今後もこのような形で行われるのか。例えば、二木生であれば、保育園をセンターにするためには、どのくらいの整備が必要で費用がどのくらいかかるという具体的なことを話す機会が必要だと思う。その部分を話す機会はあるのか。

最後に、三楽園のこと。旧二木生保育園には三楽園が建つ計画になっている。今後のセンターでの活動や区の行事で小学校グラウンドは使用したいと考えている。三楽園の施設の規模などを説明いただきたいのと、グラウンドなどの利用について三楽園とも話しをさせてほしい。

(回答：政策企画部長)

二木生保育園の具体的な改修方法などについて、にきぶ地域づくり会の検討委員会がそうそうに立ち上がるということならば、まちづくり推進課などが出向き説明させていただく。それ以外にも何かの集まりなどを設けていただければ説明に伺う。

(回答：市長)

市政懇談会は2年に1回ということで実施している。分館などについては、先ほど説明があったように地域ごとに説明させていただく。

三楽園はグラウンドに建つ予定。校舎は市が解体する。三楽園移転後の小学校グラウンドの利用については、設置する西予総合福祉会に申し入れをし、了承いただいている。最終的な図面はまだできていないようなので、もう少し時間がかかる。敷地内での地域行事や三楽園と地域の交流については西予総合福祉会との話になると思うが、最初のきっかけづくりは行政も仲立ちさせていただく。

(回答：生活福祉部長)

地区行事については、事前に要望として聞いていたため、西予総合福祉会より、前向きに検討したいと回答をもらっている。三楽園主催するイベントには現在も地元の人を招いて開催していると聞いている。

(意見等)

二木生小学校のプール横に公民館が管理している倉庫がある。この倉庫を地域づくり活動センターで使わせてもらえると防災用品などを保管できる。使わせていただきたい。

(回答：総務部長)

倉庫については、確認を行い、現状の利用状況なども踏まえて、センターでの利用が可能ならば、前向きに検討したい。

5 閉会の挨拶

副市長

6 閉会